

整理番号	32003
評価対象年度	令和3年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和2年11月17日
事業担当課	農林振興課
担当者・内線	永野・4246

《基本情報》

事務事業名	有害鳥獣対策費 ([新規]ワイヤーメッシュ柵等資材設置業務補助金)		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大
基本施策	C5 農林業に新しい活力を生み出します		
基本施策の目的 (対象と意図)	対象	意 図	
	農林業者が	安全・安心で新鮮な農林産物を安定的に供給し、経営が安定している。	
個別施策	C5-3 安心して農林業を営む環境づくりを進めます		
個別施策の目的 (対象と意図)	対象	意 図	
	農林業者が	安心して農林業を営んでいる。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	有害鳥獣被害については、近年、市街地周辺でのイノシシ等による生活環境被害が増加しており、その有効な対策として、防護対策である自治会等によるワイヤーメッシュ柵の設置を進めている。 しかしながら、人口減少や高齢化等から、柵の設置にかかる労力負担が課題となっており、設置を断念する自治会等も出てきている。 今後においても、生活環境被害対策を進めるために、自治会や自治会不在地域による柵の設置を支援していく必要がある。
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	イノシシの市街地や生活道路等への出没を防止し、市民が安全安心に暮らせるようになる。
課題(どういふことをする必要があるのであるのか)	自治会等においてワイヤーメッシュ柵を設置する労力負担を軽減していく必要がある。
上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	有・ 無
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	有・ 無

《事業の概要》

事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業期間、総事業費、事業費内訳等記載)	<p>イノシシ等による被害については、市街地周辺での生活環境被害の相談が増えており（H27：415件→R元：620件）、令和2年度に生活環境被害対策の検討業務委託を行っている。今後、より効果的な防護対策について検討する必要があるが、現在、生活環境被害対策として行っている市単独でのワイヤーメッシュ柵の貸与事業についても継続していく必要があり、自治会等において、ワイヤーメッシュ柵を設置する労力負担軽減のため、その設置費用を一部補助し、市民生活の安全安心につなげるもの。</p> <p>【対象事業】 ワイヤーメッシュ柵の自力施工が困難な自治会等 ⇒20団体（R元に生活環境被害があり自力施工が困難と判断した団体）</p> <p>【対象地区】 市内全域</p> <p>【事業期間】 令和3年度～令和5年度</p> <p>【総事業費】 6,000千円（=20団体×300千円）</p> <p>〔 1自治会 @255千円/100m×121m=309千円≒300千円 100m当たり運搬・設置概算（資材は貸与対応）255千円 R元に柵設置自治会等 50自治会6,074m→121m/自治会 〕</p> <p>【補助率】 2分の1</p> <p>【補助金額】 3,000千円（=300千円×1/2×20団体）</p> <p>【補助上限】 200千円（=400千円×1/2）</p> <p>〔 R元に柵設置自治会等 50自治会のうち延長上位10自治会の平均延長157m 1自治会 @255千円/100m×157m=400千円 〕</p> <p>【対象事業】 自力施工が困難な自治会等のワイヤーメッシュ柵設置に係る委託費</p>
--	--

業務量の増減	60時間増（補助金要綱の作成 30時間 + 申請受付、支出事務 30時間）						
市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)	<input checked="" type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 参画 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 自治会等の労力負担の部分を支援し、対策を進めていく。						
	事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定（R3年度～R5年度）						
予算額		金額(千円)	国	県	地方債	その他	一般財源
	当年度	3,000					3,000
	総額	9,000					9,000
	財源名称						
成果 (活動)指標	指標(単位)	生活環境被害の相談件数					
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	目標値	780	760	740	720		
	成果指標及び目標値の説明	イノシシの市街地出没に係る生活環境被害の相談件数を目標とした。					

評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由	
<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input type="checkbox"/> 所管案のとおり <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
(2) 評価会議における指摘事項	
<p>有害鳥獣対策については、防護・捕獲・棲み分けの3対策を推進しており、防護対策については、市街地等への出没被害防止のため、自治会等へワイヤーメッシュ柵の貸与を行っている。</p> <p>しかしながら、ワイヤーメッシュ柵の設置に係る労力負担が課題となり、設置を断念する自治会等があることから、ワイヤーメッシュ柵の設置に係る経費の一部を補助するものである。</p> <p>有害鳥獣の市街地や生活道路等への出没を防止し、市民の安全安心な生活につながることから事業の実施は適当である。</p> <p>ただし、事業実施に対する意見は次のとおり。</p>	
<p>【市長ヒアリングまでに(予算計上にあたって)整理すべき事項】</p> <p>・補助の対象者(団体)について、自力施工が困難と判断する判断基準をわかりやすく示すこと。</p>	